

# ブラジリアの風

## VENTO DE BRASÍLIA

「このいのちのことばをことごとく語りなさい」

使徒 5章 20節

### マケドニアの叫びを

頌主

約三週間ほどの冬休みが終わり、子どもたちの現地校での後期授業がスタート。三男、四男は諸事情により、後期から長男の通う学校に転校。幼い子どもには「土と太陽」のある広い場所が必要との思いから。子育ては、宣教の働きの一環としての大事業、夫婦で祈りながら子どもたちとの格闘が続きます。

2012年11月の渡伯以来、3年8ヶ月が経過。12月には一時帰国と諸教会への巡回訪問を控えています。改めて宣教師としての使命や祈るべき事柄を確認させられています。

統計上は8割がキリスト教といわれるカトリック大国ですが、160万人の日系人に限れば、クリスチャン人口はわずか2% (安井牧師曰く)。ここブラジリアでも、日本の伝統的異教や新興宗教の影響はなお強く、日本の状況と重なるところが少なくありません。

しかし、日本語学校の働きやご近所付き合いを通して、日系人家庭との交流が深まり、教会や福音に少しずつ心が開かれ始めています。

先日は、日本語学校の生徒、新保よしお君の誕生日会に招かれ、彼の御祖母様の桑江さんと親しくお話。「日本の家族に聖書をもたらしたけど、一人ではよくわからないので」と尋ねて来られました。是非訪問が許され、聖書を開いてキリストに導くことができますように。

また、二期目に向けて日系人の多い村で「書道教室」や家庭集会を開きたいと願っています。自分の持てる賜物を用いて宣教の裾野を広げ、福音の真理を証しできるように祈っています。「マケドニアの叫び」を聞き分けながら、渴いたたましいに「いのちのことば」を注いでいけますように。

在 主

2016年8月11日 浜田献、陽子

### 感謝

献金者一覧 (2016年5-6月)  
青葉キリスト教会、生駒めぐみ教会、学園前聖書教会、播磨キリスト教会、総和キリスト教会、矢作キリスト教会、西大寺キリスト教会、松戸福音教会、波崎キリスト教会、丸井基美、平出朋美、浜田良夫 (敬称略)

計156,471円(累計320,751円)

5,6月も大きな犠牲と深い祈りをもってささげてくださいました敬愛する諸教会、兄弟姉妹に心から感謝申し上げます。主の御心になることを祈りつつ、主の手足として、宣教の最前線で仕えて参ります。引き続き力強い祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

\* 「宣教師指定献金」予算  
200万円/年 (月約17万円)

■ 献金先：郵便振替  
00120-5-142886  
日本同盟基督教団事務所  
「浜田宣教師指定」とご明記下さい。



# ブラジル生活アレ・コレ

## ☆ブラジル文化あれこれ

ブラジルといえば「コーヒー」ですが、ブラジル人の多くは砂糖たっぷりの甘いコーヒーを飲みます。お店では「砂糖ぬきで」と注文しないと「極甘」が来ます。そして暑い国なのに「熱いコーヒー」、アイスコーヒーは基本的にあります。ちなみにマテ茶などのお茶類も基本砂糖入り。健康志向の人々は、砂糖ぬき「緑茶」も飲みます。

□陽子：日曜日の礼拝に日本からの留学生や出張で来られている方をお招きし、その後我が家で昼食のお交わりをする機会が与えられています。異文化に住んでいるからこそその深い話や信仰の話に至ることもたびたびあり、「日本人」への宣教も進むようにと祈られています。その後は子供たちも含めてトランプやUNO、そしてサッカーへ！

□真理生：スポーツ大好き少年で、今はリオのオリンピックに夢中です！将来はプロサッカー選手か体育の先生になりたいと、日夜トレーニングに励んでいます。

□湧希：ポルトガル語での暗唱聖句に一生懸命です。新たにローマ12章1節と、ヨハネ3章16節を覚えました。

□聖也：7才のバースデーを学校の休憩時間を利用して祝ってもらいました。8月からは新しい学校に転校し、とても充実しています。毎日図書室へ通い、お気に入りの本を借りて来るのが日課になりました。

□翔：幼稚園を変わってより活発になり、ことばが増えてきました。相変わらず音楽が好きで、自作ドラムを叩いて歌っています。

7才 聖也



4才 翔



聖也7才誕生日、学校の友達に囲まれて



10才 湧希 と 13才 真理生

